

10
2023

Hiroshima Center Rotary Club

Monthly Magazine

vol.04



ロンガルス絵画同好会 上原悠爾会員作品 「グラナダ(スペイン)」

広島中央 ロータリークラブ

活動記録：2023年10月のまとめ

事務局

例会日：毎週月曜 12:30～13:30
例会場：リーガロイヤルホテル広島
広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL：082-221-4894
FAX：082-221-4870
E-mail：hrcr@godorc.gr.jp
URL：https://hrcr.gr.jp/



2023/10/2

第1993回例会

場所

リーガロイヤルホテル広島

プログラム

「米山記念奨学会について」

卓話者

長場 誠幹事

担当委員会

米山記念奨学

ゲスト

三浦裕貴 様

祝事等

- ・ 会員誕生日（5名）
通谷 芥川 田中 大坂 福田
- ・ 配偶者誕生日（5名）
神保 吉清 石原 西川(済) 西井
- ・ 特別なお祝い（喜寿 2名） 徳見 河野

会長時間

- マルチプルポールハリス・フェロー4回目 表彰
小佐古会員

- 西村会員退会挨拶（記念品・バナー贈）

皆さんこんにちは。初めに、この度西村会員が転勤のため退会されるとお聞きし少し驚きました。短い間でしたが、我がクラブの発展のためにご尽力頂きましたことに心より感謝申し上げます。次の転勤先でのご活躍を祈念申し上げます。また、後任で入会予定者である三浦様、クラブ一同、心より歓迎申し上げます。例会をどうぞお楽しみください。

先週の月曜日、第10回目の3RC合同夜間例会が開催されました。本当に楽しい雰囲気の中で3クラブの友情を深める機会であったと思います。ご尽力いただきました長場幹事、親睦委員会の皆様には心より感謝申し上げます。次年度は我がクラブがホストを務める予定です。城本次年度会

長の下、会員の皆様の協力で楽しい合同例会が企画されることを願っております。

今月のロータリー特別月間のテーマは「地域社会の経済発展」です。また、日本独自の月間として「米山月間」となっております。クラブはこの月に特に米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動をするようになっており、そのために米山奨学生や地区役員・委員から卓話を聞き、更に奨学会から提供される資料をもとにクラブフォーラムを開催することが推奨されております。

本日のプログラムは長場幹事が米山月間についての卓話を行っていただきます。長場幹事は地区の米山委員として8年の長きにわたって活躍をされており、米山奨学事業のエキスパートです。現在、当クラブには米山奨学生は在籍しておりませんが、また近い将来、奨学生を受け入れるにあたって、事業の意義を深く理解する、貴重な時間となりますことを願っております。

本日のプログラムの風景



卓話内容は
ホームページに
掲載しております



2023/10/16

第1994回例会

場所

リーガロイヤルホテル広島

プログラム

ゲスト卓話

「私が見たカンボジア～地雷村の復興の道のり」

卓話者

フリーアナウンサー 久保田 夏菜 様

担当委員会

プログラム

祝事等

- ・連続出席（2名）下原 澁江
- ・結婚記念日（7名）
沖本 大本 上田 平松 藤村 城本 長場

会長時間

○ポールハリス・フェロー表彰 大井会員

皆さんこんにちは。2週間ぶりの例会です。ご出席ご苦勞様です。まずは、ゲスト卓話にお越しく下さいました久保田夏菜様、ようこそ広島中央RCの例会にお越しく下さいました。後ほどの卓話楽しみにしております。どうぞよろしくお願い致します。

皆様ご承知のとおり、この週末はプロ野球のクライマックスシリーズで広島は大いに盛り上がりました。ファンの期待に見事に対応してカープは2連勝でファーストステージを突破しました。ここまで来たら、2018年以来、5年ぶりに広島で日本シリーズが開催されること期待し、水曜日からは始まるファイナルシリーズを楽しみに応援したいと思います。

さて、毎月第二例会では、職業奉仕委員会による四つのテストとロータリアンの行動規範を各月交互に唱和することになっております。今月は先ほど、ロータリアンの行動規範を唱和致しました。このロータリアンの行動規範の前身は1989年に採択された「ロータリアンの職業宣言」です。そして職業宣言の変遷を更に遡ると1915年に作られた、「ロータリーの倫理訓」に至るようです。実に100年以上にわたって、ロータリーの職業奉仕の理念が様々に言葉を変えながら、受け継がれてまいりました。ただ、「ロータリアンの職業宣言」も会員の対象が職業人以外の人にも広がってきたことなどを考慮して、2011年に廃止され、新たにロータリーの行動規範が採択されました。その後何度かの修正が加えられ、現在、私たちが唱和しているものは、2019年のRI理事会で採択されたものです。

行動規範の1番目に、「個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。」と、謳っています。高潔さを辞書で調べてみますと、「性格が気高く、けがれないこと。人柄が立派でいさぎよいこと」とありました。私自身、高潔さを全く持っておりませんし、この先も高潔さと高い倫理基準をもって行動することは、とてもできる自信はありませんが、せめて例会で唱和することでその精神だけは心に留めておきたいと思っております。

四つのテストと違い、行動規範を暗記することは難しいと思いますが、会員名簿に記載されておりますので、第二例会にお越しの際には持参いただき、会員一同、揃って唱和したいと思っておりますので、ご協力の程、よろしくお願い致します。

ゲスト卓話の風景



卓話者：久保田夏菜様

卓話内容は
ホームページに
掲載しております



2023/10/23

第1995回例会

場所

リーガロイヤルホテル広島

プログラム

ゲスト卓話「挑戦から始まる県経済の未来」

卓話者

広島県議会議員 緒方 直之 様

担当委員会

プログラム

祝事等

ニコ箱時間に紹介 (S.A.A委員長)

・入会月 (2名) 下原 淀江

会長時間

皆さんこんにちは。今週も例会へのご出席ご苦労様です。広島RCの廣谷様、ようこそ広島中央RCにお越しくださいました。ごゆっくり例会をお楽しみください。そして、本日卓話ゲストでお越し頂いております、広島県議会副議長の緒方直之様、ようこそ広島中央RCの例会にお越しくださいました。後ほどの卓話、大変楽しみにしております。どうぞよろしくお願ひ致します。

さて、皆様にご報告があります。2016年から6年間、国際ロータリー第2710地区のがん予防推進委員会は、ロータリーの重点分野「疾病予防と治療」に相当するがん予防推進事業(がんの1次・2次予防、青少年へのがん教育、健康寿命延伸等)を行い、高い実績が認められています。このがん予防の実践モデルを、国際ロータリーに導入することは、ロータリーの重点分野「疾病予防と治療」のみならず、国際ロータリーの新しいビジョンに結びつくものです。

そこで、がん予防推進委員会は同地区審議会委員会に対して「がん予防によるがん撲滅プロジェクトを国際ロータリーに導入することを、国際ロータリー理事会に要請する件」という決議案を提出しました。この決議案は同委員会で承認され、来月開催される第2710地区の地区大会の決議案とすることが予定されています。そして、地区大会で決議案が承認されたのち、国際ロータリーに対して、2710地区決議案として提出され審議される予定です。

皆様ご承知のとおり、がん予防推進事業は2016-17年度第2710地区田原栄一ガバナーが提唱され実施されてまいりました。ロータリーの重点分野「疾病予防と治療」に相当するがん予防推進事業を3年間の地区戦略計画として「がん

予防推進委員会」が設置され、地区73クラブは、がんの一次・二次予防、青少年へのがん教育等の取り組みを実施してまいりました。その成果や各クラブの取り組みは、ロータリーの友誌等で広く紹介されており、また、がん予防新12か条は広く浸透しているところです。当クラブでも、がんの二次予防として、がん検診率の向上に取り組んでおり、コロナ前の2019年度の検診率は、本人並びに家族では80%以上となっており、取り組み成果が認められているところです。

6年に渡り、地区がん予防推進委員会のカウンセラーを務められておられる田原バスタガバナー、また地区委員を務めておられます藤村会員、児玉会員のご尽力に心より敬意を表するとともに、RI理事会において決議案が採択され、当地区のがん予防推進の取り組みが国際ロータリーに導入され実践されること心より願っております。

ゲスト卓話の風景



卓話者：緒方直之様



場所

リーガロイヤルホテル広島

プログラム

ゲスト卓話「進む広島の再開発と地価動向について」

卓話者

有限会社 総合アプレイザル 不動産鑑定士 河井 猛 様

担当委員会

プログラム

祝事等

ニコ箱時間に紹介 (S.A.A委員長)

創業月 (3名) 黒瀬 通谷 福田

会長時間

※ロータリー財団表彰について(紹介及び披露)

・End Polio Now:「歴史をつくるカウントダウン」の感謝状

皆さんこんにちは。今週も例会へのご出席ご苦労様です。本日の卓話ゲストでお越し頂きました、河井猛様、ようこそ広島中央RCの例会にお越しくださいました。後ほどの卓話、どうぞよろしくお願ひいたします。

連日、気持ちの良い秋晴れが続いておりますが、朝晩は急に寒くなってまいりました。皆様くれぐれもお身体にはご自愛いただき、気持ちの良い季節を満喫して頂きたいと思ひます。一つご報告をさせていただきます。ロータリー財団からEnd Polio Nowの感謝状が届いております。これは、ポリオプラスへ1,500ドル以上を寄付したクラブに贈られる感謝状です。2023年1月から9月までの間、野生株ポリオウイルスによる症例数は、世界で7件となっております。根絶まであと一歩のところまできています。引き続きこの事業へのご理解とご協力をお願い致します。

さて、今月最後の例会ではありますが、今月のロータリー特別月間テーマ「地域社会の経済発展」について触れさせていただきます。地域社会の経済発展月間はRI理事会が2014年に貧困地域の経済発展を目的として提唱しました。国際ロータリーのホームページからの引用ですが、雇用されているにも関わらず1日にわずか1ドル90セント、約220円で暮らしている人の数は世界に約8億人もいっているとされています。ロータリーは貧困地域の経済発展を目的とした起業家、地域社会のリーダー、地元団体を含む地域ネットワークの向上、雇用創出、支援の行き届いていない地域社会での貧困の削減、地域社会の経済発展に関連した仕事に従事することを目指

す職業専門人のための奨学金支援を行なっております。そのための資金として、ロータリー財団の地区補助金やグローバル補助金があります。

残念ながら、現在も世界各地で戦争や紛争が絶えません。その原因は民族、領土、宗教など様々ですが、貧困もその一因であると言えます。そしてまた、貧困は人間社会全ての根源的な問題であると思ひます。我々ロータリアンがこの問題に寄り添い、何が出来るかを考えそして行動していくことが引き続き必要であると思ひます。

ゲスト卓話の風景



卓話者：河井猛様

卓話内容は
ホームページに
掲載しております

